



陸軍部

九月五日進達

陸軍部機密第二號 白六

大正元年九月一日

其隊務所隊司令官仙頭武夫

海軍大臣五木野村少将殿

局長

其隊務所隊司令官仙頭武夫

當隊務所隊區分及所駐省籍ヲ別紙

ノ旨ヨリ変更及枚紙

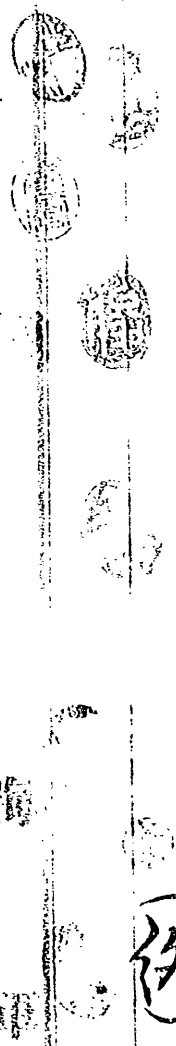
ヲ報告ス

(別紙) 土佐省籍

(伏)

第一班  
第二班  
第三班

陸軍部



陸軍部機密  
九月九日

1612

吳豫隊法令第二號

當隊艦隊區分及艦船番號ヲ左ノ通り改ム

大正元年九月一日

吳豫備艦隊司令官仙頭武央

第一小隊 (一) 生駒 (二) 明石 (三) 摂津 (四) 平戸 (五) 矢矧

第二小隊 (六) 石見 (七) 龍田

第三小隊 (八) 浅間 (九) 丹後

但 (一) 数字ハ艦船番號ヲ示ス

(終)

軍令部

大正局

軍務局

鎮機密第一八號ノ三

大正元年 九月 日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 野澤齋藤實殿

水雷艇隊後務別隊之通甚要新案

報告 局員

別添表等 係

濟

第一班  
第二班  
第三班

馬

軍務局接受  
元 角 存

1614

●佐鎮機密第一八號ノ三

大正元年九月一日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

第十五艇隊

水 水 水 水  
雷 雷 雷 雷  
艇 艇 艇 艇  
雲 鷺 鶉 鶴

右第一豫備艇隊  
第十四艇隊

水 水 水 水  
雷 雷 雷 雷  
艇 艇 艇 艇  
隼 鶉 鶉 鶉

右警備艇隊  
ト定ム

(終)

鳥 鶴

行終山

後

供覽

軍務局

人事局

軍令部

横鎮機密第一〇六號

大正元年九月一日

横須賀鎮守府司令長官男爵瓜生外吉

海軍大臣男爵齋藤實毅

水雷艇任務件

第一艇隊

第一豫備艇

同

同

同

右警備艇ト是ム

第六十七號水雷艇

第六十八號水雷艇

第七十號水雷艇

第七十一號水雷艇

第一班  
第二班  
第三班

官

海

軍

右報 告ス  
 右 榮一豫備艇ト定ム  
 (九月一日附)  
 同 同  
 警備艇  
 榮二艇隊  
 雉 鴻 鷗

江

身

1617

公報

九月六日

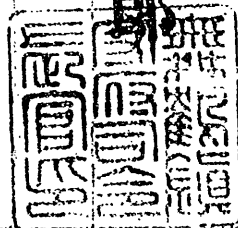
行 録

陸

舞鶴機密第一九三號

大正元年九月三日

舞鶴鎮守府司令長官男爵三須宗太郎



海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

司員

旗艦変更ノ件

海軍 小牧

軍務局

九月七日ヨリ同十五日迄黒井舞鶴豫備艦隊司令官ノ旗艦ヲ一時千歳ニ變更ス

右報告ス

(陸)

海軍

1618

1619

電報 報着 紙

單稱

電

局		着		局		發		名氏所居人信受	
取汲者	受信	付午後	受午前	後午前	第	ハ	報	多 ↑ ↓	
		八時	八時	八時	九	局	報		
		分	分	分	日	號	報		
本船一船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ 九日午後八時 本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ								定指	
								六〇二	
本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ 九日午後八時 本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ								番號	
								九	
本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ 九日午後八時 本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ								名氏所居人信發	
								多	
本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ 九日午後八時 本船隊司令官及旗艦ヲ三笠 ヲ利根ニ委充セリ								印附日信着	
								1. 9. 1918	



1620

紙 信

軍務局

報 電

九月九日

局	着	局	發	名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午前 後	受信 付午前 後	第	ヨ	ノ イ ヤ
	土	ハ	九	ヨ	
	時	時	日	報	

本日本司令官旗艦ヨ一時刻根 三笠ニ変更セリ 右報告ス 九月九日 第一艦隊長官	ホ	シ	ヒ	レ	カ	キ	カ
	ン	フ	一	ビ	ト	子	コ
	カ	サ	ニ	コ	ウ	セ	リ
	キ	ウ	コ	ウ	ス		

定指 632  
事記  
番着 紙 名氏所居人信受  
第三十九號  
印附日信着  
1.9.11

和

海軍大臣男爵齋藤 實殿

大正元年 十月 一日

佐世保鎮守府司令長官島村速

海軍大臣男爵齋藤 實殿

佐世保鎮守府司令長官印

軍務局長 齋藤 實殿  
水雷艇隊務別添通書受致

別添 藤原

海

軍令部

水雷

海軍

●佐鎮機密第一八號ノ四

大正元年十月一日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

第十艇隊

水	水	水	水
雷	雷	雷	雷
艇	艇	艇	艇
第	第	第	第
四	四	四	三
十	十	十	十
三	三	三	九
號	號	號	號

第十三艇隊

水	水	水	水
雷	雷	雷	雷
艇	艇	艇	艇
第	第	第	第
六	六	三	三
十	十	十	十
一	一	八	七
號	號	號	號

第十四艇隊

水	水	水	水
雷	雷	雷	雷
艇	艇	艇	艇
千	真	鶴	隼
鳥	鶴		

佐世保鎮守府

右 警 備 艇 ト 定 ム									右 第 一 豫 備 艇 ト 定 ム
				第 十 二 艇 隊					第 十 一 艇 隊
	水	水	水	水	水	水	水	水	水
	雷	雷	雷	雷	雷	雷	雷	雷	雷
	艇	艇	艇	艇	艇	艇	艇	艇	艇
	第 三 十 六 號	第 三 十 三 號	第 三 十 二 號	第 三 十 一 號	第 七 十 五 號	第 七 十 四 號	第 七 十 三 號	第 七 十 二 號	

(終)

紙  
約

江領機密第一〇七號

大正元年十月一日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

水雷艇役務変更件  
麾下水雷艇役務別紙ノ通り変

更ス  
右報告ス

別紙老葉添

終

第一班  
第二班  
第三班

海軍

軍令部

軍務局

第一班



吳鎮機密第一〇七號

第五艇隊

警備艇

第二十五號水雷艇

第四十九號水雷艇

第五十四號水雷艇

第五十五號水雷艇

右第一豫備艇ト定メ全定員ヲ置ク

第六艇隊

第一豫備艇

第五十六號水雷艇

第五十七號水雷艇

第五十八號水雷艇

第五十九號水雷艇

右警備艇ト定ム

大正元年十月一日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

公報

山梨

十一

大正九年十月一日

十月一日

大正元年十月一日

第六艦隊司令官海軍少佐武富威

海軍大臣男爵齋藤 實殿

司令艇變更ノ件

本日司令艇ヲ第六十二號水雷艇ニ變更致候条  
右報告ス

終

②

1626

公報

十月四日

三  
日



三  
密  
七  
一

參謀長

副官

參謀

大正九年十月二日 於長浦

十月二日

海軍大臣 齋藤 實

司令艇変更ノ件

十月二日司令艇ヲ水雷艇鴻ヨリ水雷艇雉ニ

変更ス

右報告ス

(終)

海軍

市川元八納

1627





直寄  
公報

紙達

注意 受付日時の記入を省略したるものは受付の當日著局に於て受信したるものとす

局著	局	第	報
受 信 後 書	第 十 号	第 一 号	報
分 字	分 日	分 日	分 日

名氏所居人信發

名氏所居人信發

印附封著 裁 審

本局に於て受信したるものは受付の當日著局に於て受信したるものとす  
 本局に於て受信したるものは受付の當日著局に於て受信したるものとす  
 本局に於て受信したるものは受付の當日著局に於て受信したるものとす

直寄の郵便物は、其の出発地を付箋し直に之を配達する電報局所に送附せらるべく決して其受取人へ直送し又は手渡しせざることを要す。

10 8

1628

軍務部

軍務局

十月  
日報

舞鶴機密第二〇號

大正元年十月一日

舞鶴鎮守府司令長官男爵三須宗太郎

豫備水雷艇隊  
第十六艇隊

豫備水雷艇

第六十二號水雷艇

第六十三號水雷艇

第六十四號水雷艇

第六十五號水雷艇

右警備水雷艇  
第十七艇隊

豫備水雷艇

第四十四號水雷艇

第四十五號水雷艇

同 同

同 同

同 同

第四十六號水雷艇

右第一班豫備水雷艇

豫備水雷艇

第四十七號水雷艇

右第二班豫備水雷艇

豫備水雷艇

第四十八號水雷艇

右第三班豫備水雷艇

豫備水雷艇

第四十九號水雷艇

同 同

同 同

同 同

第五十號水雷艇

1629

紅  
行

參謀長

五  
二〇九

事務長

十月一日

副官

十月五日

十月二日

大正元年十月一日於吳港

第五驅逐隊司令有馬純位

海軍大臣男爵齋藤實致



軍

司令驅逐艦臨時變更一件

本隊(潮夕)伊豫離出動中(出動豫定自十月八日)司令驅逐艦

潮ヨリ若葉ニ臨時變更致す條

右報告ス

終



1630

海軍

十月五日  
15

海軍局

艦隊第二の號 十月二日

大正元年十月一日於大湊

第四驅逐隊司令坂本夏國

海軍大臣男爵齋藤 實殿

司令驅逐艦變更ノ件

本日司令驅逐艦ヲ連ヨリ曙ニ變更致候

右報告ス

(終)

海軍

市川元八納

1631

公報

陸

事務局

參謀長

參謀

副官

海

軍

大驅第五

十月二日進

大正元年十月三日於星

入事長

第六驅逐隊司令関重孝

十月九

海軍大臣男爵高松實殿

司令駆逐艦変更、件

本日、司令駆逐艦三時雨ニ変更致候

右報告ス

(終)

月十日

公案

約

紙

参謀長

参謀

副官

十月五日

進

十月八日

海軍大臣男爵齋藤實殿

大正元年十月五日

茅左衛門隊司令職務執行本府直次

藤 十 五

軍務局

本隊司令官船隻指定件  
右報告ス

終

1633

伊覽

電

公報

軍務局

軍令部

濟

舞鶴機密第一九〇四

大正元年十月七日

舞鶴鎮守府司令長官男爵三須宗太郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

來ル十月二十日ヨリ大演習第二期開始迄黒井  
舞鶴豫備艦隊司令官ノ旗艦ヲ一時軍艦千  
歳ニ變更ス  
右報告ス

(終)

1634

軍令部

人事局

軍務局

第一五一七

大正元年十月十日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣男爵 齋藤實殿

潜水艇就役準備關之件

本件關之別紙通り訓令候條

右報告ス

(別紙一葉添)

第一班

海軍

3

1635



海軍 第一〇二一

大正元年十月十二日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

第一潜水艇隊司令官 泉哲太郎殿

潜水艇執役準備之関件

一、来十月七日大正元年海軍大演習第一期終結後、

七潜水艇ハ豫備潜水艇、第一、二、三、四、五、六、潜水艇ハ警備潜水

艇ノ準備ヲ着手スヘシ

二、右準備着手及終了期日ハ其時々報告スヘシ

三、来十月一日ヨリ右ノ通リ役務ヲ命ズヘキ豫定ナリ

右訓令ス

(終)

海軍

海軍

八

十月三日

軍務局

永

海軍密案三一號

大正元年十月二日

海

海軍大臣男爵齋藤實殿

第十驅逐隊司令 狹間光大

司令印

司令驅逐艇變更件

本日司令驅逐艇不知火三變更致候条

右報告云

海軍

海軍

海軍

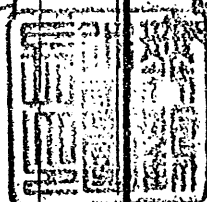
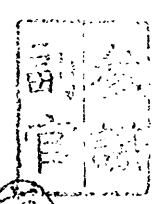
海軍

(海)

海軍

1637

船長



海

軍

陸軍省  
大正元年十月十八日  
陸軍省  
第三四號

陸軍省  
第一四號

十月十七日

大正元年十月十七日

十月十八日

第十七艦隊司令官 宮本松太郎

海軍大臣 男爵 齋藤實殿

司令官 艇變更報告ノ件

當隊司令官 艇ヲ本日第四十四号水雷艇ニ變更致矣

右報告ス

(終)

軍務局

公報

三十三号

紙

十月二十一日

軍務局

十五號第一大號

參謀長

參謀

副官

大正元年十月十九日

十月十八日

海軍大臣男爵齋藤實殿

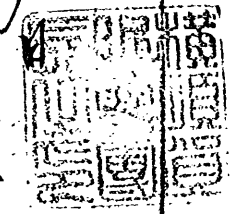
第十五驅逐隊司令竹村

本隊司令驅逐艦ヲ文月ニ指定ス  
在報告久

局員



(終)



大正元年十月十九日  
印刷

1639

公報

三六日

長

士驅第 八八号

十月五日進

於佐世保

長印

十月五日

百進達

第十二駆逐隊司令鍵和田專太郎

司令

海軍大臣男爵齋藤實殿

司令驅逐艦変更ノ件

本隊司令驅逐艦ヲ磯波ニ変更ス

軍務局

報告口入

(終)

參謀長

海軍

廣瀬

海軍

海軍

十月廿一日

10.20